

## 1 北秋田市地区

名 称	北秋田市土地改良区		
関係土地改良区	北秋田市鷹巣、合川町、森吉町、北秋田市綴子		
合併形態	新設合併	合併目標	平成28年1月20日
面積・組合員	3,400ha 4,037人	事務所	北秋田市栄字太田9-2

## 2 能代地区

名 称	秋田県能代地区土地改良区		
関係土地改良区	秋田県能代地区、能代北部、東雲原、能代市榊		
合併形態	吸収合併	合併目標	平成28年4月1日
面積・組合員	3,147ha 2,519人	事務所	能代市落合字中大野台100-23

## 3 協和地区

名 称	秋田県協和土地改良区		
関係土地改良区	大仙市協和小種、大仙市協和		
合併形態	新設合併	合併目標	平成27年12月1日
面積・組合員	1,018ha 728人	事務所	大仙市協和境字野田4 (大仙市役所協和支所内)

## 4 仙北平野地区

名 称	秋田県仙北平野土地改良区		
関係土地改良区	秋田県仙北平野、秋田県七滝、秋田県仙北南部、秋田県仙北平野東部、大仙市横堀、仙北平野豊川、大仙市中仙南、大仙市清水北部、大仙市鶯野、仙北郡六郷町		
合併形態	吸収合併	合併目標	平成28年1月下旬
面積・組合員	9,599ha 5,818人	事務所	大仙市大曲住吉町2-6

## 5 平鹿平野地区

名 称	秋田県雄物川筋土地改良区		
関係土地改良区	秋田県雄物川筋、十文字町、平鹿町、おものがわ、横手市沼館、阿気、横手市宮田		
合併形態	吸収合併	合併目標	平成28年4月1日
面積・組合員	10,617ha 7,255人	事務所	横手市平鹿町醍醐字浅舞山13-74

平成27年度

## 秋田県土地改良事業推進大会

●平成27年10月30日(金) 午後1時00分 ●鹿角市「鹿角市記念スポーツセンター」鹿角市花輪字荒田4-1

今年は  
鹿角市で  
開催!!

## 第138回 秋田県種苗交換会

「農業農村整備フェア」を開催します!

農業の祭典『第138回秋田県種苗交換会』が、10月29日～11月4日まで鹿角市を会場に開催されます。期間中、水土里ネット秋田では農業農村整備事業のPRのため県内国営事務所、秋田県、秋田花まるっG T協議会と共催で参考展示「農業農村整備フェア」を開催します。皆様の来場をお待ちしております。

**期間**：平成27年10月29日(木)～11月4日(水) 9:00～16:00

**場所**：主会場 アルパス (変更になる場合があります)

**内容**：各種パネル・事業模型の展示、土地改良相談コーナー、カレンダー作成など

# 「農業農村整備の集い」で 農林水産大臣などへ予算確保の要請

農業農村整備事業関係予算の大幅な拡充を目指し、本年度より、全国土地改良事業団体連合会主催の「農業農村整備の集い」が年2回開催されることになった。6月29日、1回目の「集い」がシェーンバッハ・サポーター（東京都千代田区：砂防会館別館）において開催され、全国各地から関係者約800名のほか、来賓として国会議員249名（うち、代理出席150名）、農林水産省より林農林水産大臣をはじめ農村振興局長など、幹部職員が多数結集した。

冒頭、本会会長でもある高貝全土連副会長が開会を宣言した後、二階全土連会長が挨拶し、政府が「骨太の方針」などで「土地改良の一層の推進」を謳っていることや、来年度予算の拡充及び本年度の補正予算編成への期待を述べた。続いて、林農林水産大臣と稲田自民党政調会長より祝辞があり、また来年の参議院選の比例区に出馬表明した本県出身の**進藤金日子（しんどうかねひこ）氏**が紹介された。次いで秋田・新潟・愛知の3団体が各種事業の事例発表を行い、秋田県田沢疏水土地改良区の田村事務局長は地区内のほ場整備事業を発表した。また、国に対する要請文は、参加者の満場一致の拍手で採択となった。

「集い」終了後には、二階会長、高貝副会長を始めとする全土連関係者が農林水産省の大臣室を訪れ、林農林水産大臣など農林水産省幹部の方々に予算確保に向けた要請を行った。また、本会関係者は、県選出国議員に対して同様の要請活動を実施した。

## 要請文の内容

- 1 農業農村整備事業関係予算について、安定的・計画的な事業実施のために、平成28年度当初予算において、地域の要望に十分応えられる規模を確保すること。
- 2 平成27年度において追加的な予算措置を講ずること。



▲開会宣言を行う高貝会長（全土連副会長）



▲「集い」後の全土連の要請活動（農水省大臣室にて）

## 要請活動 東北・北海道土地連絡協議会が各省庁へ

### 農業農村整備関係

1. 新たな農業政策の実現に向け平成28年度農業農村整備関連予算を確保すること
2. 平成27年度の補正予算編成での必要な予算措置を講ずること
3. 農業農村を巡る諸課題の解決について

### 東日本大震災関係

1. 東日本大震災復興交付金を活用した復興事業の推進について
2. 農村地域復興再生基盤総合整備事業の予算確保について

6月29～30日に東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会が、財務省・農林水産省・復興庁へ「農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請」を行った。本会からは清野専務、水戸常務らが農林水産省と財務省で要請活動を実施した。今回は、我が国最大の食料供給基地である東北・北海道の農業農村の持続的発展を万全なものとするため、上記のとおり、農業農村整備関係については3項目、東日本大震災関係については2項目の要請を行った。

# 秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会が 新たに「秋田県多面的機能支援協議会」に！

7月3日、秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会の平成27年度第1回通常総会が秋田市文化会館で開催され、会員29団体のうち、19団体が出席。はじめに地域協議会の清野会長（水土里ネット秋田専務理事）が「秋田県の本事業の取組実績は、農地維持支払が1,000組織



(取組面積=87,382ha) 資源向上の共同支払が855組織（取組面積=79,863ha）で、国、県、市町村を合わせた交付金は約40億円となっており、全国3番目の取り組みとなっている。これも、関係機関の理解と、本事業の推進を担ってきた皆様の努力の賜であり、深く感謝申し上げる。平成27年4月1日から『農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律』が施行され、①多面的機能支払②中山間地域等直接支払③環境保全型農業直接支払の3対策を、法律に基づいて安定的に支援することになり、交付金も、地方自治体が交付することとなった。このため、地域協議会も交付金の実施主体から、活動組織や地方自治体が行う事業に対する『支援組織』として再編される」と挨拶した。

議事では、まず平成26年度事業報告・収支決算報告、次いで法制化に伴う地域協議会規約及び規程の改正が審議され、満場一致で承認された。

また、総会を現在の年2回開催から年1回とする提案がされ、この提案に対し、事務局から、交付金の交付事務及び実績報告事務が市町村へ移行し、協議会は推進交付金のみを取扱いとなること、県の基本方針に位置付けられた協議会業務となることなどから、総会を年1回として開催時期を原則6月とし、前年度決算報告と新年度予算審議を行うことについても満場一致で承認された。



また、総会を現在の年2回開催から年1回とする提案がされ、この提案に対し、事務局から、交付金の交付事務及び実績報告事務が市町村へ移行し、協議会は推進交付金のみを取扱いとなること、県の基本方針に位置付けられた協議会業務となることなどから、総会を年1回として開催時期を原則6月とし、前年度決算報告と新年度予算審議を行うことについても満場一致で承認された。

## 水土里の野菜倶楽部・体験農園 大住小学校児童の農作業体験を開催

### — Akita活力人ちいき応援事業の活用 —

5月26日（火）、秋田市立大住小学校の3年生97名が、水土里の野菜倶楽部・体験農園（仁井田大野）で「さつまいも」、「えだまめ」、「ダリア等の花卉類」の定植・播種の農作業を体験しました。

農園には、野菜倶楽部（会長：上村隆策）の会員のほか、大住小の安宅校長先生、市役所、地元農家の皆さんに児童の作業を手伝っていただきました。

今後は、7月下旬の「ジャガイモの収穫」、「草取り」10月の「さつまいも収穫」「仁井田大根などの伝統野菜の栽培講習」等を予定しております。



# 秋田県土地改良換地技術者協会、 秋田県土地改良換地士部会

## 平成27年度通常総会を開催

7月3日、秋田市の「メトロポリタン秋田」で、秋田県土地改良換地技術者協会、並びに秋田県土地改良換地士部会（会長・部会長 佐藤俊一）の平成27年度通常総会が開催された。

換地技術者協会総会では、佐藤会長の挨拶の後、平成27年度事業計画案などの提出議案が原案通り決定・承認された。

また、引き続いて行われた換地士部会総会は、来賓として県農林水産部農地整備課の鈴木主幹と上野主査、農業公社の川上課長と藤原課長、水土里ネット秋田の清野専務を迎えて開催された。総会では、平成27年度事業計画案などの提出議案が原案通り決定・承認された後、県の鈴木主幹から県内の換地業務の動向を、また農業公社の川上課長、藤原課長から農地中間管理事業について情報提供がなされ、会員との間で活発な意見交換が行われた。



▲換地技術者協会総会の議事の様子



▲換地士部会総会での農業公社からの情報提供

# 秋田県農地集団化推進協議会 第55回通常総会を開催!!

6月19日、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」で、秋田県農地集団化推進協議会（佐々木紘一会長）の第55回通常総会が、来賓として瀧川参事（兼）農地整備課長（秋田県農林水産部）、清野専務理事（水土里ネット秋田）などを迎えて開催された。

議事に先立って、「平成26年度東北・北海道土地改良事業団体連絡協議会農地集団化促進部会優良地区表彰伝達式」、「平成27年度秋田県農地集団化推進協議会農地集団化事業優良地区及び功労者表彰」が行われた。

なお、総会では平成27年度事業計画などの提出議案がいずれも原案通り可決・承認されたほか、任期満了に伴う役員改選が行われ、佐々木会長が再任された。また、総会に引き続き、横手市の農事組合法人「十二牲担い手生産組合」の本間代表理事より「基盤整備の営農推進向上効果と今後の課題」について、講演が行われた。



- 東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会 優良地区表彰  
皆別当地区（秋田県西仙北土地改良区）、南外中央地区（南外中央地区土地改良組合）
- 秋田県農地集団化推進協議会 優良地区表彰  
天塩地区（潟上市天王土地改良区）、若美中央地区（男鹿市若美土地改良区）